

ほっと石川観光プラン2016（仮称） 施策の展開

1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大

(1) 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進

- 観光魅力の発掘・磨き上げ
 - ・ 県民生活との調和を図りつつ、地域の新たな観光魅力の発掘と磨き上げの取り組みを強化し、観光地としてのブランド力の向上を図ります。
 - ・ 観光総合プロデューサー、観光ブランドプロデューサー等の助言を受け、新たな観光魅力の創造に努めます。
- 体験観光プログラムや周遊型観光の旅行商品化の促進
 - ・ 「本物」の旅を求める近年の旅行ニーズを踏まえ、石川ならではの体験観光プログラムの開発・旅行商品化に取り組みます。
 - ・ 新幹線開業効果を県内全域に波及させるための周遊型観光の旅行商品化を促進します。

(2) 石川の優れた文化を活かした誘客の促進

- ・ 工芸、芸能、祭り、食など、石川の豊かで質の高い「本物」の文化の魅力を県内外に発信するとともに、その魅力を活かしたテーマ性の高い旅行商品の造成を推進するなど、石川の優れた文化を活かした誘客を促進します。

(3) 観光地の活性化とまちづくりの推進

- 地域の個性を活かした観光地の活性化
 - ・ 地域の観光団体等の意欲的な取り組みを支援するなど、地域の魅力アップと活性化を推進します。
 - ・ 新幹線開業効果の県内全域への波及を図るため、能登、加賀、金沢それぞれの地域が一体となった魅力的な観光素材づくりや誘客イベントの開催など、受け地の観光魅力づくりを推進します。
- 地域の特徴を活かしたハード・ソフト両面からのまちづくりの推進
 - ・ 伝統的な建造物を活かし風情のある街並みを形成するため、景観の保全と修景整備に取り組みます。
 - ・ 高齢者や障がい者の方々など全ての人たちが安心して観光を満喫できる環境整備に努めます。
- 金沢城復元整備（第三期以降計画の推進）
 - ・ 鼠多門・鼠多門橋の復元整備など第三期整備計画を策定し、引き続き県都金沢のシンボル公園として、本物志向で史実性の高い整備を進め、「加賀百万石」のブランドイメージの向上を図ります。

(4) MICEや教育旅行誘致の推進

- MICE誘致の推進
 - ・ MICEの開催を支援する助成制度を活用し、年間を通してバランスの取れた計画的なMICE誘致を図ります。
 - ・ コンベンション開催に必要な情報提供や相談対応等を担う金沢コンベンションビューローや市町、民間事業者との連携を強化します。
- アフターコンベンションの充実
 - ・ 石川の誇る歴史や伝統文化等を活かした魅力あるアフターコンベンションプランを提案し、参加者のコンベンション終了後の県内観光を促進します。

- 教育旅行の戦略的誘致の推進
 - ・ 誘致可能性の高いエリア等にターゲットを絞るとともに、本県の強みを活かした学習プログラムを提案するなど、旅行会社と連携した戦略的な誘致に取り組みます。

2 石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上

- 観光客の声を活かしたおもてなしの向上
 - ・ アンケート調査による観光客の声を観光業界全体で共有し、具体の改善、おもてなしの向上に繋げ、観光客の満足度向上を図ります。
- 事業者のおもてなし向上
 - ・ ホテル、旅館、交通事業者など観光関連企業の従業員等を対象とした研修会を開催し、おもてなし力の向上を図ります。
- 県民のおもてなし向上
 - ・ 県民を対象とした研修会を開催し、日常生活における県民のおもてなしの意識向上を図ります。
- 金沢駅観光案内所等の機能・サービスの充実
 - ・ 観光客のニーズに応じた観光案内機能やサービスを充実するなど利便性の向上に努めます。

3 石川ならではの魅力の発信

(1) 本県認知度向上のための効果的な情報発信

- 三大都市圏など重点エリアでの誘客プロモーションやイベントの実施
 - ・ 北陸新幹線敦賀開業（県内全線開業）も見据え、JRをはじめとした交通事業者や大手旅行代理店等と連携した誘客プロモーションやイベント、アンテナショップ等を活用した情報発信を強化します。
- 観光PRマスコットキャラクター「ひゃくまんさん」の活用

(2) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信

- 県観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」の充実
 - ・ 観光情報が的確に提供できるよう、県観光ホームページ「ほっと石川旅ねっと」の内容の充実を図ります。
- 観光客のニーズや嗜好に応じた魅力発信
 - ・ 石川ファンの拡大を図るため、観光客のニーズや嗜好に応じた、きめ細かで多様な観光情報を提供します。
- いしかわ観光特使・県人会等による情報発信
 - ・ いしかわ観光特使のロコミによる情報発信を推進します。
 - ・ 全国各地の県人会等のネットワークを活かした情報発信を推進します。
- SNSなど効果的な媒体を活用した情報発信
 - ・ SNSや旅行予約サイトなど、急速に利用が拡大しているICTを効果的に活用した情報発信に取り組みます。

4 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進

- JRと北陸三県が連携したキャンペーンの実施
 - ・ JRと北陸三県が連携した北陸エリアでの広域周遊観光を促進します。
- 隣県や新幹線沿線県等との連携
 - ・ 環白山広域観光推進協議会、加賀越前広域観光推進協議会等による周遊観光を促進します。

5 海外誘客の促進

(1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度向上

- 海外に向けた積極的な観光PR活動の展開
 - ・ 旅行博覧会等への参加、海外メディアやインターネットを通じた情報発信等により、海外での認知度向上を図ります。
- 石川のネットワークを活かしたPR
 - ・ 海外に在住する石川県観光親善大使や海外県人会、県内留学生等のネットワークを有効に活用した情報発信に取り組みます。
- 多言語による情報発信ツールの充実
 - ・ 多言語によるホームページ・パンフレットや映像コンテンツを活用し、本県の観光魅力を広く海外に発信します。

(2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を活かした誘客の促進

- 北陸新幹線など充実した交通インフラを活用した広域連携による周遊観光の促進
 - ・ 北陸新幹線沿線自治体等連携によるJR等の周遊パスを活用した新たなゴールデンルートの構築に取り組みます。
 - ・ 小松空港・のと里山空港を活用した誘客を促進します。
 - ・ 県内発着クルーズの前後泊ツアー等の新たな需要の開拓など、陸・海・空の充実した交通インフラを最大限活かした広域周遊観光を促進します。
- 外国人旅行者のニーズに応じた戦略的取り組みの推進
 - ・ スポーツ・レジャーツアーや教育旅行の誘致など、各国・地域の観光ニーズに応じた誘客の取り組みを推進します。
 - ・ 歴史や文化、伝統など石川の強みを活かし、本物志向の個人旅行者や富裕層の誘客に取り組みます。
- MICE誘致の推進
 - ・ 経済波及効果が大きい海外企業によるインセンティブ旅行・会議の誘致を推進します。
- 新規市場の開拓
 - ・ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、今後誘客が期待できる新たな市場の開拓に取り組みます。

(3) 外国人受入環境の充実

- 観光事業者等への普及啓発
 - ・ 観光事業者や市町を対象とした外国人旅行者受入環境セミナーを開催し、受入環境の充実を図ります。

- おもてなしの向上
 - ・ 観光事業者等を対象としたインバウンド研究会の開催、観光案内所の機能充実、通訳ガイド研修の開催等により、おもてなしの向上を図り、石川ファンを拡大します。
- 災害時等における避難誘導マニュアルの周知
 - ・ 国が作成した外国人旅行者向け「災害情報提供アプリ」や市町、観光事業者向け「緊急時の初動対応マニュアル」の周知を図ります。

6 観光振興を担う人材の育成

- 次代を担う観光人材の育成
 - ・ 新たな観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化に取り組む人材など、次代の石川の観光を担う人材を育成します。
- おもてなし人材の育成・充実（一部再掲）
 - ・ ホテル、旅館、交通事業者など観光関連企業の従業員等を対象とした研修会を開催し、おもてなし力の向上を図ります。
 - ・ 県民を対象とした研修会を開催し、日常生活における県民のおもてなしの意識向上を図ります。
 - ・ 観光案内所職員のスキルアップ、観光ボランティアガイドの育成に取り組みます。

7 交流基盤の整備と活用

(1) 陸上交通網の活用

- ・ 北陸新幹線の早期全線整備の実現を目指すとともに、北陸新幹線の利便性向上に取り組みます。
- ・ 能越自動車道等の高規格幹線道路の整備を促進します。
- ・ 「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想を推進します。

(2) 航空路線の活用

- ・ 小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した人・ものの交流を促進します。
- ・ のと里山空港の利用促進と、にぎわい創出による地域拠点としての活性化を図ります。

(3) クルーズ船の戦略的な誘致

- ・ 釜山港等の他港とも連携し、金沢港を発着地とするクルーズ船などの戦略的な誘致を進めます。
- ・ クルーズ船の受入体制を充実するとともに、金沢港の発着港としての定着に向け、県内及び周辺地域におけるクルーズ需要の喚起を図ります。

(4) 二次交通の充実

- ・ 関係機関と連携した公共交通の利便性向上・利用促進を図るとともに、観光列車（JR七尾線「花嫁のれん」、のと鉄道「のと里山里海号」）を活用した観光誘客に取り組みます。
- ・ 陸・海・空の交流拠点へのアクセス道路の整備、道の駅等の機能の拡充を推進します。